

産階級。主体は近世工業労働者と農民とである。此、二個の主体、均衡的の強き進行は、資本家階級にとりては最も恐るべき無産階級の集中力であり。無産階級にとりては最大なる解放的武器である。思ふに資本主義制度の崩壊する。又無産階級の力の決定的要素。尺度は強固なる労働組合と農民組合との協力。程度如何に依りて定まる。階級戦途上に於ける全無産階級の重大なる任務は労働協力即ち兩者の共同戦線。確立にある。故に日本無産階級の基礎条件、確立を理由として本案を提出する。

方法

- 一、関東同盟大会に於て決議したる左の決議案、通過（労働準備軍を産出せしめたる様農民組合に積極的運動を起す事を無産階級、為めに要求す）
- 二、実際の立場を思推して今後農民運動と通常同一歩調の下に進み戦不可事を具体化し、農民運動と實際に提携して行く事を主張す。

七 婦人部設置の件

（関東同盟会提出）

△理由

（関東労働同盟會提出）